

令和5年12月22日

校長 終業式の話

2学期はたくさんの行事等があり、また季節も夏から冬へと変わり夏休み明けから振り返ると遠い昔のように感じるかもしれません。2学期はたくさんのお疲れさまでした。さて、皆さんは福間中学校卒業のプロ野球選手がいることは知っていますか。現在、広島東洋カープで活躍中、プロ5年目(投手)。島内 颯太郎(しまうち そうたろう、平成8年生まれ - 27歳)選手です。彼は

- ・福津市立福間小学校3年で野球を始め
- ・福津市立福間中学校で軟式野球部に入部
- ・福岡県立光陵高等学校へ進学し、大学卒業後
- ・2018年ドラフト会議で広島東洋カープから2位で指名を受け入団

5年目の島内投手は今シーズン、5月から勝ちパターンの中継ぎに定着して両リーグを通じて最多の62試合に登板し、39ホールド、の成績で広島東洋カープ球団史上初の最優秀中継ぎ投手のタイトルを獲得しました。

島内投手は「昨シーズン結果が出なくて覚悟を持って臨んだシーズンだった。抑えにつながり大事なポジションを5月から全うできて誇りに思っている。新記録を達成できたことはうれしいですし、これだけ歴史のある球団で新たな記録を自分が達成できるとは思っていなかったもので、光栄に思っています。」とのことでした。

先日のお祝いの会でも、「毎日自分が決めたことを必ずやるのが大切で、中学では、体が細かったので体づくりで給食を毎日たくさん食べていた。高校でも、毎日しっかりとトレーニングを続け、その後大学でも、毎日練習後にポールとポールの間を走るトレーニングなどを欠かさず、毎日食事をたくさんとることや体のケアを行っていたそうです。長い間、毎日、自分で決めたことを努力として積み上げてきたことで、タイトルを取るなど評価される結果を出すことができ、とてもうれしい。」と喜んでおられました。つぎの目標に向け、広島でのトレーニングに戻られていました。

スポーツのみならず、勉強面においても、毎日欠かさずのトレーニングや努力が、自分の力として身につけて、その後の人生の支えとなってくれます。東京大学法学部卒業の方に仕事で教えていただく機会がありましたが、辞書の厚さの冊子を二ページ2~3秒で読まれ、パラパラとめくってどこに何が書いてあるか、聞いたことをここにこう書いてあるなど即教えてくれました。どうしたらそうなれるのか聞くと「毎日毎日、活字を見てたくさんいろんなものを読んで、自分で決めた量や時間は勉強し

ました。その経験と積み上げです。」と言われていました。自分で決めた質や量の努力を毎日欠かさずしっかりと重ねていくことが大きな力になるということでした。ぜひこの冬休みに、毎日、自分の力を高めるために自分で決めたことや、ある程度の決めた量を欠かさず行うことを毎日やってみてください。

話は変わりますが、先日、地域の高齢の女性の方から「福間中学校にはとても優しくて立派な生徒さんがいる。助けられたお礼の連絡です。」という電話が学校にありました。それは次のような内容でした。

- ・その人は一人暮らしで左腕を骨折していることもあり外に出ていなかった
- ・その日は天気が良くて気分もよくなり、ゆうちょ銀行へ歩いて行った
- ・その帰り、ヤクルトのところの前の道で息苦しくなり動けなくなってしまった
- ・しばらくして中学生の優しそうなお女子が通りかかったので声をかけた。

「手かして、腕につかまってるいい?」、「こんにちは、はい」その中学生の女の子は腕につかまらせてくれて支えながら家までつれて行ってくれた。

- ・女の子の名前は名札を見て覚えています。〇〇さんです。
- ・福間中にはとてもいい女子生徒がいる感謝している。助かった。ありがたかった。
- ・本当は学校に来て直接お礼を言うところですが、こんな体なので行けずにすみません。その生徒にお礼が言いたい。伝えてもらえますか。
- ・この感心な生徒のことを全校生徒にも伝えてほしい。

私（校長）の方からその生徒が中3の〇〇さんと分かったので、お礼を言わせてもらいました。初対面のご年配の方から助けを求められ、はずかしがらずに腕をかして家まで1 kmくらい支えながら連れ添っていったことは大変立派なことだと思います。このように相手の状況やその気持ちになり、親切に接したり、助けたり、最後までやり遂げた生徒を尊敬し、私たちもそのようなよい行動を進んでしていきましょう。

明日からの17日間の冬休み、有意義に過ごし、また元気に3学期に登校しましょう。